

## 会員メッセージ 総会・懇親会初参加者寄稿

# 《金砂健児の集い》 に参加して

坂本 薫

(昭和42年電気科卒)

総会が休日だったので同級生と初めて出席しました。自己紹介します。

**\*入学の年** なんてボロい校舎だと思いました。60年経った木造がよくて青春映画の撮影があり高生役の女優を覗きに行ったり、東京五輪の年でもあったので卒業生の遠藤幸雄氏が体操個人総合の金メダルを下げて報告に来たり、野球部が夏の甲子園に出たりの年でした。

**\*活躍する同級生** A・B2組あり、デキシーランドジャズの演奏家、著名な山岳著述家、地球物理学の名誉教授、流体工学博士など目立った存在の者もいますが、何ら取り柄のない私は小学から男鹿でやっていたボーイスカウトをここ調布3団で50年間続けています。

**\*神のご意思か** 今から18年前52歳の時にリストラになり、現在の補聴器専門店を起業しました。それまではオランダの電機メーカーに勤め、東京→名古屋→東京→札幌→東京と転勤先の自然を大いに楽しみましたが、被害にあった子供達から今でも文句を言われています。

**\*今の仕事は「えっ？」** 社会でのコミュニケーションは相手の話を聞くことからですが、加齢と共に高音域から聞こえにくくなります。難聴は認知症への影響が最も多い因子です。皆さん70歳を超えたら意識しましょう。認定補聴器技能者と相談してください。

**\*主観的にはまだ若い** やりたいことがまだまだあるので筋トレの道具を買いました。頭もボケないように刺激ある毎日にしたいです。

【北斗星:2011年10月の新聞記事 Netより】

試写で懐かしい映画に浸った。大半が県内ロケ。それでいて映画ファンにもあまり知られていない秋田のお宝級の映像と言えるかもしれない ▼「十七才は一度だけ」(井上芳夫監督)。タイトルも魅力的なこの作品は、東京五輪のあった昭和39(1964)年の封切り。半世紀近く前の前の県都を舞台に、高田美和さんが女子高校生役で主演する青春映画だ ▼完成早々の秋田市役所庁舎周辺や広小路には、「こんなに人が多かったのか」と目を見張った。学園シーンは秋田工高の教室やグラウンドなどで撮影。映画は来月9日、秋田文化会館大ホールで上映される ▼主催は同市役所金砂会。秋田工高出身の職員による親睦会で、設立50年を記念し県映画センターの協力で企画した。「母校だけでなく、にぎわいと風情があった秋田の街並みを多くの人が見てくれれば」と田中雅美会長 ▼圧巻は高田さんが思いを寄せる人を観衆の中で探す竿燈まつりの場面。当時若者だった父や父母の世代の妙技が引きつける。「がんばろう東北」を掲げた今夏の祭りがダブリ、変わらぬエネルギーで震災による沈滞ムードを一掃し、県勢をも奮い立たせたいと思わずにいられなかった ▼現在、広小路では新県立美術館などを核とした再開発事業が進行中。県や市の職員はもちろん、まちづくりに関心のある市民も上映会に足を運んでほしい。「元気だったころの秋田」を目に焼き付けてもらいたいからだ。上映は無料で午後6時半から。



友人とツール・ド・モンブラン

# 澤木萬國特許事務所

内外国への特許、実用新案、意匠、商標出願、侵害事件についての相談・鑑定・調査

所長弁理士 澤木 誠一

(昭和26年 電気科卒/東京秋工会顧問)

弁理士 澤木 紀一

〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目18番11号 ル・グラシエル BLDG.16 4F

TEL : 03 - 3501 - 0937 (代) FAX : 03 - 3595 - 0059

E-mail : sawaki.pat@mbd.nifty.com